

い け だ

Ikeda



議会だより

3月定例会 No.144

平成24年5月1日

発行：岐阜県池田町議会

きふ清流国体
三十モのお宿 池田ごはん 大試食会

★3月定例会	2～3p
★新議員紹介	4～5p
★一般質問	6～8p
★質疑あれこれ	9～10p
★議会改革の取り組み	11p
★きらり・編集後記	12p



第1回 定例会

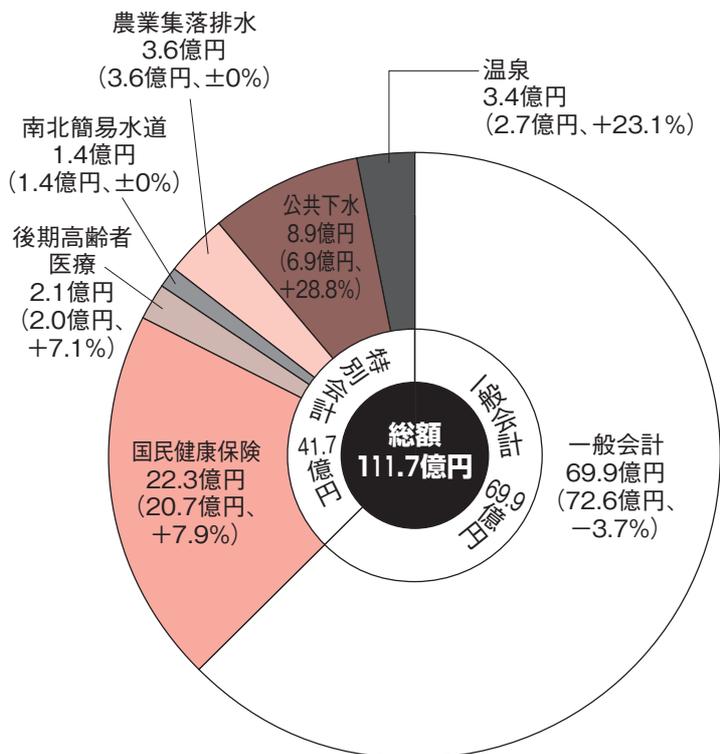
2月27日

3月5日

平成24年度予算可決

一般会計 69億9,500万円 (前年比4%減
72億6,000万円)
特別会計 41億7,700万円 (前年比12%増
37億3,000万円)

総額 111億7,200万円 (前年比1.6%増
109億9,900万円)
百万円以下は四捨五入



百万円以下は四捨五入。()内は前年度予算額

今定例会(議会)の主な内容

- ◎町長の24年度施政方針・予算提案説明
- ◎教育委員会委員任命・林野組合議会議員 決定
- ◎池田町まちづくり条例 可決
- ◎条例・規約変更・事務委託 可決 29件
- ◎23年度補正予算 可決
- ◎24年度予算 可決
- ◎24年度土地開発公社事業 可決
- ◎町道路線変更・認定 可決
- ◎23年度一般会計補正予算専決処分報告 可決

臨時会(議会)の内容

議員定数12人↓10人になり、
委員会構成が変更

委員	今までの	これからの
総務建設産業	12人	10人
民生文教	12人	10人
議会広報編集	5人	4人

- ◎議会の決定
- ◎専決処分事項の報告

本年度重要施策 (町長提案)

- ◎ぎふ清流国体の推進事業
- ◎子育て支援・高齢者支援対策事業
- ◎観光交流事業
- ◎下水道整備事業

人事案件 (議会が同意)

- ◎教育委員会委員

野原 正

般若畑701番地

- ◎榎原谷林野組合議会議員

高橋 和博 野原 幸義

久保田和秋

- ◎足打谷林野組合議会議員

小川 修 國枝 弘

矢橋 克己 石田 正秋

今西 武 野原 敏郎

松原 勇 窪田 智秋

内田 義彦 高橋 光雄

渡邊 正雄

国体関連施設整備事業

5,750万円
追加補正 1,600万円
(トレーニング室増築工事)

- 総合体育館トレーニング室増築工事 5,600万円
- チャレンジ広場駐車場舗装工事 507万円
- 霞間ヶ渓スポーツ公園トイレ設置工事 450万円
- 柔道場畳91畳購入等 793万円

池田温泉・新館リニューアル工事

※ 5月15日～6月15日は休館

8,298万円

- 源泉ポンプ入替工事（本館） 337万円
- 新館外部改修工事 4,915万円
- 新館内部リニューアル工事 2,915万円
- 監視カメラシステム設置工事（新館） 131万円

池田町議会常任委員会等名簿

◎ 委員長

○ 副委員長

名 称	定数	氏 名
議 長	1	遠藤和雄
副 議 長	1	坂口 博
監 査 委 員	1	土川 博
総務建設産業委員会	10	◎竹中芳弘 ○岩谷真海 松岡雅子 松岡正彦 遠藤和雄 坂口 博 土川 博 牧村範康 臼井幹夫 渡辺幸一
民生文教委員会	10	◎松岡正彦 ○松岡雅子 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 坂口 博 土川 博 牧村範康 臼井幹夫 渡辺幸一
議会運営委員会	5	◎岩谷真海 ○松岡雅子 松岡正彦 竹中芳弘 牧村範康
議会広報編集委員	4	◎牧村範康 ○竹中芳弘 臼井幹夫 渡辺幸一
池田町計画審議会委員	8	松岡雅子 松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 坂口 博 土川 博 牧村範康
消防委員会委員	6	◎岩谷真海 松岡雅子 松岡正彦 遠藤和雄 竹中芳弘 土川 博
国保運営協議会委員	6	◎松岡雅子 ○牧村範康 松岡正彦 坂口 博 臼井幹夫 渡辺幸一
池田町農業振興地域整備計画協議会委員	7	松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 坂口 博 土川 博 牧村範康
養基小学校養基保育所組合議会議員	2	遠藤和雄 松岡正彦
池田町有線放送電話農業協同組合理事	1	岩谷真海
池田町有線放送電話農業協同組合監事	1	遠藤和雄
土地開発公社理事	6	松岡雅子 松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 土川 博
土地開発公社監事	1	牧村範康
揖斐広域連合議会議員	4	遠藤和雄 松岡正彦 岩谷真海 竹中芳弘
西美濃さくら苑介護老人保健施設事務組合議会議員	2	遠藤和雄 松岡正彦
岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員	2	遠藤和雄 土川 博

新議員紹介

(議席番号順)



氏名 渡辺 幸一
住所 上田15番地

年齢 58歳

職業 会社役員

趣味 スポーツ、読書

抱負 町民の皆様の生の声をよく聞き、何をすればよいかを一緒に考え、元氣と活力ある町づくりを進めます。



氏名 白井 幹夫
住所 本郷1368番地の4

年齢 60歳

職業 自営業

趣味 ゴルフ、各種スポーツ

抱負 地産地消の推奨を進め、県内外の多くの人に池田町をアピールし活力ある町づくりを進めます。また池田温泉を中心に道の駅など観光にも力を入れ、多くの人が注目してくれる様な安心、安全な住みよい町づくりを励みます。



氏名 牧村 範康
住所 青柳84番地の1

年齢 44歳

職業 会社役員

趣味 読書、ゴルフ

抱負 皆様の負託に応えるべく地方自治の課題と展望について常に配慮し、開かれた議会と産業・文化・福祉の向上のため、常に「民意主義」で努力を傾注します。特に子育て・教育の課



氏名 土川 博
住所 宮地929番地

年齢 70歳

職業 農業

趣味 ゴルフ

抱負 観光の町池田町を目指して、池田山麓一帯の放棄農地の活性化。西美濃夢源回廊の一日も早い完成。池田山登山道・遊歩道の完成。池田山を桜ともみじの山に。



氏名 坂口 博
住所 片山1374番地

題に積極的に取り組みます。

抱負 自然豊かで誰もが安心して住み易い町づくりをさらに進めます。八幡小学校の建設、金地谷の改修工事と次の世代にしっかりとした跡を残したい。



氏名 竹中 芳弘
住所 八幡195番地

年齢 70歳

職業 会社役員

趣味 野球、映画鑑賞

抱負 自然豊かで住み易い町づくりをさらに推進し、町人口の増加と企業誘致を促進、活力ある町づくりに全力を尽くしたい。八幡小学校の建設工事が始まる年、

しっかりと現場状況を見て、すばらしい学校を将来に残したい。



氏名 遠藤 和雄

住所 沓井838番地

年齢 72歳

職業 会社員

趣味 読書

抱負 常に町民の目線に立って考え、安心・安全で活力ある町づくりに努力します。子ども達により良い環境づくりに努力します。

氏名 岩谷 真海
住所 六之井781番地



年齢 57歳
職業 僧侶
趣味 読書、ボランティア活動

抱負 私は、住んでみたい池田町、これからも住み続けたい池田町をめざして活動します。その為には住民福祉の向上、教育環境の充実、ライフラインの確立、雇用の場の確保、災害に強い町づくり等に積極的に取り組みます。



氏名 松岡正彦

住所 田畑828番地

年齢 70歳

職業 農業

趣味 無し

抱負 笑顔で助け合い、楽しく暮らせるよう皆様のご意見を拝聴し、さらに住み

良い池田町になるよう頑張ります。

・企業を誘致し、働く場所を多くする。

・子供達の健全な育成
・安心出来る老後



氏名 松岡雅子

住所 六之井1787番地の2

年齢 68歳

職業 会社役員

趣味 スポーツ、手品、ボランティア

抱負 今回女性が一人になりましたが、女性が活躍できる町づくり、又、養老鉄道の存続、医療誘致、18歳以下の医療費無料化等、家族を守る町づくりの為初心を忘れず、最初の一步を恐れずにチャレンジし、必ず結果が出せる様頑張ります。

平成24年度 議長・副議長決まる



遠藤和雄 議長



坂口 博 副議長

なあって、安心・安全で活力ある豊かな町づくりのために努力をしていく所存でございます。

今年、国体の年であり、今年、町内の民泊協会の皆さん、民泊受け入れ家庭の皆さんのご協力をいただき、全国からお越し下さる選手・監督の皆さんにおもてなしの心で接して頂きたい。そして、池田町を知ってもらい交流の輪を広げ一生の思い出を作ってもらい、町民にとってもお互いに協力していく中で地域の連帯感をより一層深めて、成功裏に終わりたいものです。

皆様方の一層の御支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

就任あいさつ

去る4月3日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長、副議長に就任させていただきました。もとより浅学非才、微力ではございますがその責務の重さを十分認識し、誠心誠意、全力を尽くす決意でございます。

監査委員の選任意



土川 博 議員

今議会より定数10名となり、議員一人一人の責務はより一層重いことを心に刻み、議員自らが研鑽を深め町民の皆様の負託に応え、皆様の声を充分受け止め、常に町民の皆様の目線に立ち議会が一体と

住民参加で、活力ある池田町で あり続けるために



遠藤和雄 議員

池田町も将来避けて通れない少子高齢化の時代を迎える。生産人口の減少、高齢人口の増加は余儀なくされ、町財政にも大きな影響を及ぼすと思われる。財政基盤の活性化対策等により人口減少に歯止めをかける施策を講じていかなければならない。町民の自意識を向上させ、協働・参画の認識を持ってもらう施策が大切である。幅広い世代の参加意欲のある方にも考慮した、諸会議や会合等の曜日や時間帯を考えて、参加意欲のわく環境をつくるのが大切である。

町長

第五次総合計画・町づくり条例の制定にあたり、夜土・日にやってはきたが、土・日については家族サービスもあり出来るだけ避けてきた。その時々の方々の意見の持ち方によって皆さんの意見を聞いて出席して頂ける状況を作っていくのが必要だと考える。

情報公開が町民参加のスタートラインとして、政策決定過程での透明性や、予算編成過程での住民の意見や提案を聞く環境はできないか。そのうえで具体的な事業に対する予算額の記載や事業内容を紹介し、実施過程や結果について検証し進捗状況を公表し、情報を発信していくことが、町政に対する関心を深めると思うが。

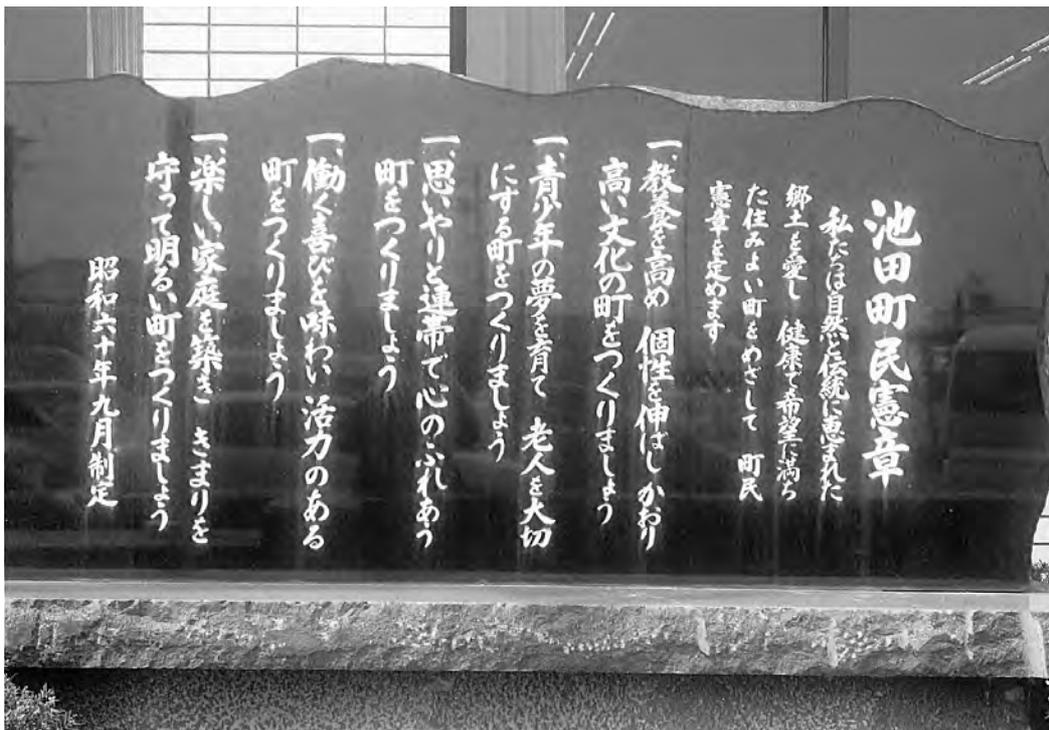
町長

予算編成過程での日程的なこともあり、又人員配置も考慮しなければならぬので全て情報を流すことは難しい。機会あるごと主要政策については説明させていただき理解を頂けるよう進めていきたい。

昭和60年に制定された池田町民憲章と、平成7年に合併40周年記念に作られた池田町の歌を知ってもらうことが、町民の一体感の醸成と郷土を愛する心を育むとともに町勢の発展につながるのではないかと。

町長

町民憲章は成人式に新成人に毎年朗読してもらっている。今後も続けていきたい。池田町の歌は、成人式に少年少女合唱団に歌ってもらっている。今後、時期をとらえながら国体のテーマソングと並行しながらやっていくことが必要ではないかと考える。

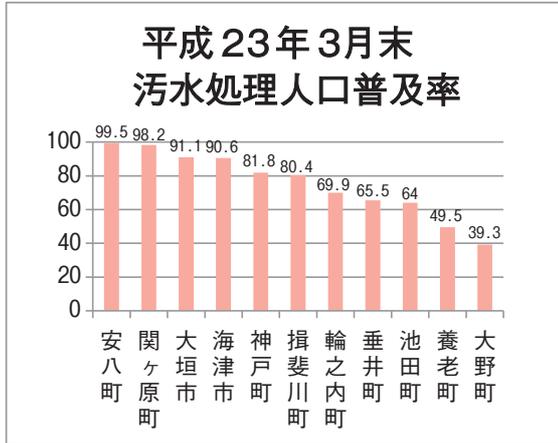


庁舎にある町民憲章の石碑



窪田弘子 議員

下水道料金はこのままでいいのか



急ピッチで進む西濃地方の汚水処理事業
公共下水・農業集落排水・合併浄化槽すべてを含む。
大野町は合併浄化槽のみ。

平成9年、最初の利用が始まって以来、19年に一般浄化槽並みにと一回値上げしただけで、維持管理費は今年の予算でも8800万円一般会計から補てんしている。当初は、3年ごとに料金を見直す予定だった。住民サービスの公平という点からも、少しづつ値上げをし、受益者が払うようにすべきではないか。

町長

維持管理費は使用料でまかないたいが、今の値上げラッシュの中、接続率も上げたい。

ので、値上げは難しい。

使っただけ払うという従量制がないのは、西濃で池田町と揖斐川町だけ。値上げを町民に納得してもらうためにも従量制にすべきでは。

町長

分かりやすい話だが、すぐには難しい。

近隣では下水道事業を急ピッチで進めている。今は、金利も安いので、もっと投資して、工事を大幅に前倒し早く全町完備されたい。

町長

高度合併浄化槽ならば、事業費も少なく、早くできるので、区域を定めて高率補助でやったかと考えている。

地産地消はまず学校給食から

今は食材が世界中から来るが、安全な野菜を誰もが求め、新鮮な地元産を子供たちに食べてもらいたい。

学校で食べ物の生産の事を教える食育は重要。地元産の野菜は給食で大人気だ。地産地消の成功例は、消費者ニーズに軸足を置き、いっ何がどの位要るかに応じた生産をしている。学校や農協という買い手と農家をつなぐ機能が不可欠で、町はその役割を担うべきではないか。

町長

地産地消は私も同感で、安全な地元産野菜を全量でも給食に使用したい。今農業婦人クラブなどに出してもらっているのは、野菜では10%程。町はすべてをまとめるのでなく、取り組んで下さる方の支援をしていく。



給食風景 (池田中学校)

さらに文化の薫る町に

歴史・文化の発展があつて、魅力ある町になっていると思う。

専門職の学芸員が1人みえるが、文化の継承には時間がかかる。跡継ぎを採用されたい。

町長

他の部署に学芸員の資格者が2名いるので育成し、町の文化面を強くして行く。



野網義一 議員

コミュニティバスの有効活用

身近なところにバス停を



運行開始のコミュニティバス

2月にコミュニティバスがスタートした。ところが、バス停が少なく利用したくても利用できない人が多いことがわかった。

巡回線に16カ所バス停があるが、例えば東公民館など15カ所のバス停を追加すべき。西公民館での方向転換やゲンキー東のバス停は無駄が多すぎる改善を。そうすればバス停を多くしても時間は、ほとんど変わらない。

逆コースも導入し、無駄にバスに乗っている時間を短縮すべき。温泉バスのようにフリー乗降の導入や温泉入り口まで運行すべきではないか。

町長

運行し始めたばかりなので温泉バスのようにはいかない。コースの無駄を省きできるだけ多くのみなさんに利用していただけるよう逆コースや北回り南回り線についてもしばらく利用状況をみて検討する。

コミュニティバス利用状況

単位：人

	2月	3月
巡回線	544	799
南回り(火・木)	99	156
北回り(水・金)	91	233
計	734	1188

道の駅を自慢できる施設に

新館と歩道橋をつなげ

25年度実施に向け準備

狭くて入り組んでいて店に入りにくい。車椅子の利用が困難。雨風が吹いたらゆっくりくつろげる所がないなど道の駅の改善を求める町民の声が多い。物理的な改善はむず

町長

かしいが、道の駅をもっと魅力あるものにすべき。魅力ある商品の開発。フリーマーケットの実施と町民参加。野菜売り場は安全で新鮮な野菜をもっと多く。周辺の地域と一体となった環境作りを提案する。道の駅と新館をつなぐ歩道橋はいつできるのか。

町長

フリーマーケットは4月から定期的に実施したい。そこへ町民の参加も。歩道橋は25年度の社会資本整備事業の補助事業対象になるので、実施に向けて関係機関と協議を進める。

原発事故起きたら大変

ヨウ素剤近くに

放射能のモニタリングを

3月3日福井県の美浜原子力発電所の近くの水晶浜から千個の風船が10時から12時に

町長

かけて放たれた。12時30分には八幡や池田山登山道で拾われ、北西の季節風にのって短時間に池田町まで飛来することが証明された。事故が起きた時の速報体制と防災対策を確立されたい。ヨウ素剤を保健センターなどに近くに備蓄されたい。放射線の測定を恒常的に実施せよ。

町長

ヨウ素剤は県内の大病院6カ所に5千人分確保されているがもっと近くで確保できるように県に要望する。モニタリング検査も実施したい。

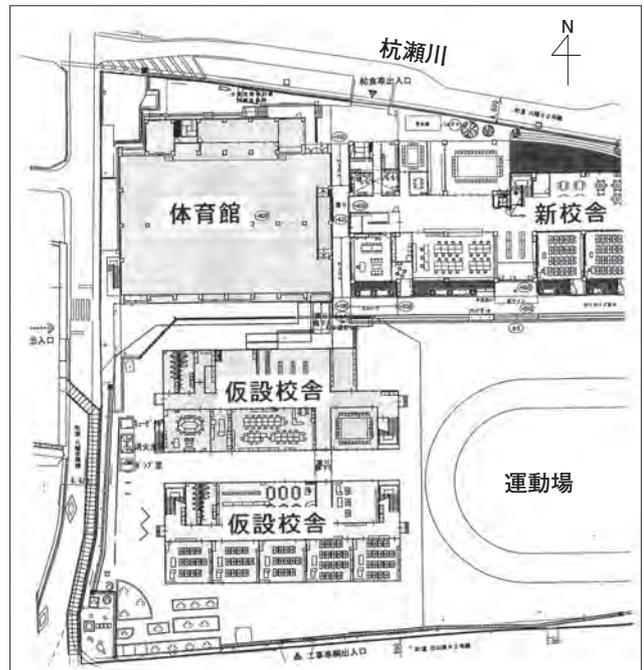


役場に導入された線量計

その他、消費税増税について池田町の産業や財政に与える影響について質問。

質疑 あれこれ

3月議会に上程された議案の中から主な質疑を要約してお知らせします。



八幡小学校仮設校舎の位置図

るもので、一括発注、分離発注等、今後考慮していきたい。

霞間ヶ浜スポーツ公園
駐車場設備についての考
えは。

国体に向けて駐車場確
保のため軽舗装し、利用
しやすくする。

民生文教委員会

問 平成23年度池田町一般会計補正予算について。

答 八幡小学校改築工事については総経費15億8700万円で当初予定額より多く、理由はボーリング調査の結果パイル打ち工事、太陽光発電システム工事・仮設校舎建設の施工増と資材の高騰による。

問 平成24年度池田町一般会計予算について。

答 住宅用太陽光発電システム設置の実績は平成23年度開始で、38件申請があり、今後の方針は補助金が減額され、さらに全量買い取り制度も開始されるので平成25年度以降に検討していきたい。

緊急通報装置事業の現状は。

75歳以上の独居高齢者などに80台設置。昼間独居などの方には、安心して池田町に住めるように対応し検討していきたい。

問 平成24年度後期高齢者医療事業特別会計予算について。

答 予算規模前年対比で7.1%増で4年間据え置かれた保険料が平成24年度に改定されることが要因で収納状況は特別徴収で72

%、収納率は100%。普通徴収は28%で、収納率は平成22年度では99・12%。全体では99・74%である。

問 池田町ことばの教室の設置及び、管理に関する条例の一部改正について。

答 条例改正により「サー

年	平成24年(2012)												平成25年(2013)												平成26年(2014)				
	平成23年度			平成24年度												平成25年度												平成26年度	
年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実施設計	■	■	■																										
確認申請等諸手続																													
仮設校舎建設工事																													
仮設校舎へ引越																													
既設校舎解体																													
新校舎建設工事																													
新校舎へ引越																													
仮設校舎解体																													
外構工事																													
授業を行う建物																													

八幡小学校校舎改築スケジュール

総務建設産業委員会

「ビス」が「支援」となるが公費9割、自己負担1割は変わらず利用者負担に変化は生じない。事業所名は「ことばの教室」で名称は変わらない。

問 池田町国民健康保険条例などの一部改正する条例について。

答 主に入国管理法改正に伴うもので、住民基本台帳に外国人が登録されることに従来は2週間以上の手続きが必要であったが、入国時のみとなり簡素化された在留期間が切れた場合は入国管理事務所か警察署の所管となる。

問 温知小学校体育館、防水改修工事の内容は。

答 主に屋根の防水工事で国体に向け利便性を考慮し、体育館周辺の整備も含めて総合的に施工していきたい。

問 町民参画・協働推進会議は常設か。

答 総合計画など重要施策があるときなどに事業目的ごとに設置する。

問 池田町暴力団排除条例について対象者の確認の方法は。

答 県の公表もあるが、町としては関係機関へ問い合わせるなどして確認する。

問 下水道条例で排水基準が0.2から1に改正される理由は。

答 国の基準が緩和され、池田町では工場から排出される対象物の受け入れはしていないので検出されないと考えている。

問 新たに導入される森林・環境税の啓発方法は。

答 広報や各種納付書の中にリーフレットを入れること等によりお知らせする。

問 公共下水道事業の減額理由は。

答 平成23年度事業要望に対して、3割カットされたことによるもの。

問 西美濃・北伊勢観光サミットの内容は。

答 西美濃地域11市町と三重県北伊勢地域4市町の自治体や近畿日本鉄道(株)が加盟、毎年観光サミットを開くほか、物販、各種イベントを開催している。

問 24年度は道の駅池田温泉で開催されるので、特産品のPRや販売はもちろんの事、池田温泉の利用にもつなげていきたい。

答 24年度は道の駅池田温泉で開催されるので、特産品のPRや販売はもちろんの事、池田温泉の利用にもつなげていきたい。



西美濃・北伊勢観光サミット「観光物産展」の様子

取り組む事業である。

問 池田温泉新館リニューアル改修工事の内容は。

答 外部については屋根、外壁、柵、内部は畳、壁、ふすま、カーテン等の改修で、5月15日から6月15日までの1ヶ月間で、本館の温泉ポンプの入れ替えは、5月28日から5月30日までの3日間で施工する。

問 ふれあい街道路路改良モデル事業の内容は。

答 環境整備のため一部の側溝を利用し、200mほどを改良する。

問 農業集落排水施設更新支援事業の内容は。

答 機器の機能点検をすることにより劣化の状況診断や、今後の修理方針を立てる上での参考となるもので、補助金等申請にも必要となってくるので



リニューアル改修工事ににかかる池田温泉

議会改革の取り組み

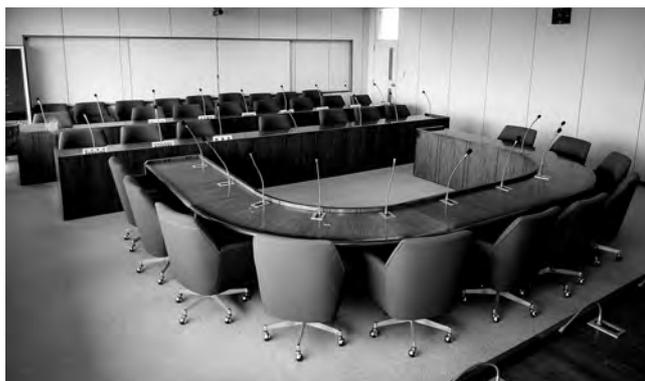
議会の効率化、議員活動の活性化と情報公開の推進のため、議員定数の削減と併せて様々な議会改革を行ってまいりました。

次回6月議会からは、ついに「議会中継」もスタートいたします。(放映日時は、決定しだいHPにてご案内させていただきます)

今後とも町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

常任委員会委員定数

- H20. 4 ~ 3委員会各6名
⇒ 2委員会各12名(全議員参加)
- H24. 4 ~ 2委員会各10名(全議員参加)



庁舎3階 委員会室

委員会傍聴許可

- H22. 6 ~ 委員長の許可制
⇒ 自由傍聴化へ(委員会・本会議における傍聴者への資料の貸出可)

一般質問の質問方式変更

- H21. 3 ~ 一括質問方式 ⇒ 一問一答方式選択可(一括質問 or 一問一答)
- H23. 6 ~ 完全一問一答方式へ(質問時間50分、再質問は1項目につき2回まで)

議会中継開始

- H24. 6 ~ 大垣ケーブルTVで録画放映開始予定



庁舎3階 議場風景



池田中学校の同級生でつくる「池仲一家」。日本美化し隊などその活動は、今、叫ばれている地域の絆の再発見！代表の川瀬遊陽さん（24歳）を直撃しました。



1. 「池仲一家」を立ち上げたきっかけは

21歳の頃、友人達との飲み会で「故郷池田に誇りを持ち、目的・目標・夢を持ち、イキイキ暮らしている人が何人いるだろうか？一人でも多く、笑顔に元気にできないだろうか？」と話題に出たことがきっかけで、まずは同志を結集しよう！と池仲一家を立ち上げました。

2. 今までの活動内容は

我々はその笑顔が創造でき、賛同した人が賛同した事にだけ参加するという自発性を重視した活動を行なっています。過去の主だった活動は、講演会・ゴミ拾い・東北支援・多種多勢で行う飲み会などなど…決まり拘束はありません。中でも大嶋啓介氏をお招きし行なった講演会では、300名のお客様が集まり、多くの笑顔を生み出すことができました。

3. やりがい・嬉しかったことは

今ある仕組みは古く、時代に合っていない。変



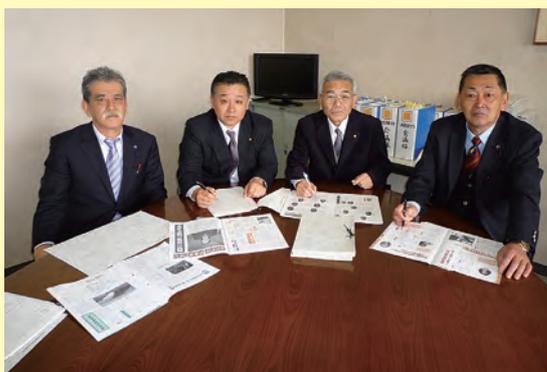
わらない大好きな池田である為には変わり続けなくてはなりません。新たな価値を創造し、提供し笑顔が生み出された時、一番のやりがいを感じます。また活動で多くの素敵な出逢いが起きる事にとっても幸福を感じています。

4. 今後の活動への想いは

あっという間に創設から四年が経ちました、我々も確実に歳をとります。この想いを後輩世代に伝えていきたい、支援したいと強く願っています。

皆さん、人生とは祭りであり、年に一度の祭りを待っているよりも、自分で祭りを作り、その中で血を沸らして毎日を送っている方がよっぽど楽しい人生です。我々と自慢できる故郷を創造していきましょう。

同級生の絆を大切に、ふる里を想い活動を続けていく青年たちの熱い想いに、我々議会人も教わる点が多い。毎年成人式には、卒業年度の池仲一家が誕生すれば、一層活力ある町づくりが期待できそうである。がんばれ池仲一家！（牧村範康）



白井幹夫 牧村範康 竹中芳弘 渡辺幸一

編集後記

遅咲きながらも池田山麓が鮮やかなピンク色に染まり、活力に満ちた息吹が感じられます。議会も4月から新しい10名の議員でスタートしました。今期から広報編集委員は4名となりましたが、少数精鋭でこれまで以上に町民目線を大切にし、「議会だより」が町民の皆様の「絆」となるよう、見やすく、読みやすく、わかりやすい紙面づくりに励んでまいります。是非、皆様のご意見ご感想をお寄せ下さい。（委員長 牧村範康）